

大津弘報

1965-10



僕も私しも元気です

中京地区就職者激励会 9月20日 於 名古屋市

第六回大津町議定会定例会開催

昭和三十九年度一般会計決算認定

第六回大津町議定会定例会は九月十日午前十時より議会議場にて招集され開会當日西本議長より会期日程を語り本

会期は昭和三十九年度一般会計決算の外特別会計(二件)の決算認定が上提されたので慎重審議を期する為に決算特別委員会を設置して議会の機能を十分に發揮し、議案の上提提案理由の説明を求めて各議案に対し質疑応答がくり返され、其の後各議案を所管の委員会に付託して左記の会期日程に従い全議案を慎重に審議し、其の結果原案通り可決決定されました。

本会議の会期日程

九月九日(金) 本会議 午前九時 議場

会期決定議案の上提案理由説明質疑 特別委員会の設置、委員会付託

九月十一日(土) 委員会 午前十時 議場

決算特別委員会

九月十二日(日) (休会)

九月十三日(月) 委員会 午前十時 議場

決算特別委員会

九月十四日(火) 委員会 午前十時 議場

建設委員会 経済委員会(現地調査及議案審議)

九月十五日(水) 委員会 午前十時 議場

総務文教委員会

九月十六日(木) 本会議 午前十時 議場

一般質問、各委員長報告議案の審議決定陳情の取扱

特別委員会設置

本会期に決定された議案の主なるものを拾つて御紹介し、ますと次の通りである。

一、人事関係 大津町大字錦野九拾六番地

大津町教育委員会委員 赤星正殿

二、決算関係

①昭和三十九年度大津町一般会計歳入歳出決算の認定

歳入総額 三二四、八八一千円

歳出総額 三〇四、七四八千円

歳入歳出差引額 二〇、一三三千円

②昭和三十九年度大津町水道特別会計歳入歳出決算の認定

歳入総額 一一、四一一千円

歳出総額 九、四三二千円

歳入歳出差引額 一、九八〇千円

③昭和三十九年度大津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 事業勘定

歳入総額 四八、五〇一千円

歳出総額 四八、三三八千円

歳入歳出差引額 一六三千円

直診勘定

歳入総額 四、八八三千円

歳出総額 四、二五〇千円

歳入歳出差引額 六三三千円

④昭和三十九年度大津町ブルトワ特別会計歳入歳出決算の認定

歳入総額 一、七四八千円

歳出総額 一、七一一千円

歳入歳出差引額 三七千円

三、学校建設関係 ①工事名 大津小学校屋内体育館

新築工事(合便所及渡廊下)

鉄骨平屋建六三、六平方方米

②工事場所大津町大字大津二一〇番地(小字校敷地内)

③工期 昭和四十年九月二十六日着工

昭和四十一年三月二十日完成

④契約金額 七千三百五拾万円也

⑤請負者 株式会社 建吉組

四、其の他の事項 ①民生委員推せん委員(議案提出)

補欠委員 荒木虎雄殿 齊藤敏殿

推せん委員 武藤亀令殿 中栗俊道殿

②学校統合特別委員会

委員長 本田誠一殿 副委員長 緒方繁殿

委員 齊藤敏殿 坂梨邦治殿 高木末男殿 畑中茂殿

以上の外四件でしたが満一場致にて可決決定されました

地域別意向調

9.10現在

区分 地域別	参加農家の希望する事業の概要			備考
	土地基盤整備事業	経営近代化施設事業	単独融資事業	
中島	栗園集団造成	共同防除施設撰果場	集団造成面積不足の 場合は個人事業で行う	事業不明
岩坂	畑地かんがい (区画整理 交換分合)	大型トラクター		
野川	集団桑園造成	未定		
瀬田		栗共同集荷所		
大林	農道(2500m)	栗共同撰果場		
上陣内	土地基盤整備	未定		
中陣内	大窪5.1ha 区画整理排水事業	共同養豚施設		
灰塚	水田土地基盤整備事業60ha	未定		
新小屋	集団桑園造成	壮蚕共同飼育施設 2	牛肉 20	
高尾野	農道整備700m			
猿渡	共同桑園造成		屋外飼育テント	
宮本	集団桑園造成2.5ha	稚蚕共同飼育所		
米山	集団桑園造成	〃		
真木	農道整備 草地改良造成10ha	牧場管理施設	乳肉 30頭	
上中	畑地かんがい 草地改良事業 6ha	未定		
下中	草地改良事業	近代化施設?		
片御願所	草地造成事業	牧場管理施設 収蔵所施設	乳牛導入希望 乳牛購入及び各種施設	
杉下	交換分合	簡易集乳所 共同放牧場		
杉上	未定	壮蚕飼育所		
原場	飼料園造成 5ha	共同畜舎 草刈機 トラクター	和牛購入	

農業構造改善事業

事業を希望する地域 二二三

近く実施地域の選定について協議

推進態勢の確立と共に、本格的に活動にはいつた本町の農業構造改善事業は、去る九月上旬全地域の事業に対する意向を打診しました処、今後事業を希望する地域「二二三」事業を見送る地域「二五七」地域の意向が明らかになりました。

役場では九月二十四日これら事業を希望する地域の推進委員会を開催、直ちに部落座談会の日程などについて

協議し、九月二十八日より十月八日に至る間、事業希望地域に於いて座談会を催すことになりました。高部落座談会終了後本町構造改善事業協議会にはかり、事業実施地域の選定等について協議致す事にしており、参考と致しまして、今後事業を希望する地域の意向のあらましをお知らせ致します。

その他
の改良
事業あり

民生委員が県外就職児童の慰問

予て大津町民生委員会では、町内の中学卒業生で県外に就職した児童の其の後の状況を視察し、慰問激励をしたいと計画をしていたが、この程、話がまとまり、事前に色々準備連絡等を済ませて、中京地区を訪問することと決定した。一行は九月二十日名古屋市に到着、就職先会社が多数にわたるので、旅館に児童を来て貰つて、

夕食を共にし、一人一人から現況を聞き、又民生委員の方からもそれぞれの実家の無事な報告をした上、後輩の現中学在生からの激励文を渡し、町長から郷土の土産の網鉄糖を一箱づつ渡し、大へん和氣あいあいとした懇親会となつて、児童一同も極めて元気で、このような集りは初めてだったと、非常に喜んでゐた。最後に一両記念撮影をして、実家のお父さん、お母さんに頒布することを約束して散会した。尚当日欠席通知が来ていた児童が四、五名いたが、それらの児童の就職先会社には、町

長と民生委員代表が直接行つて、会社と相談し、大部分は出席してもらつたが、一名だけ、数年前に退職し、行方不明であつた。

民生委員推薦委員会

補欠委員を委嘱

民生委員は、町長から委嘱を受けた十四名の推薦委員会によつて推薦され県の審査会を経て厚生大臣から委嘱を受けることになつてゐます。

このたび十四名の推薦委員のうち死亡その他の事由で次の四名の方が十月二十三日迄の任期で補欠委員として町長から委嘱されました。

荒木虎雄(上鶴新町) 松本スミニ(杉木)

齊藤隆(上福内) 大田黒モトエ(吹田)

十月一日より共同募金 赤い羽根に 温い心を託して

みのりの秋を迎え「みんなしあわせに」を合言葉に皆様にあたたかい心持ちよる「赤い羽根共同募金運動」が十月一日から全国一斉に始まりました

戦後の急速な経済成長のかけに幾多の恵まれない人達の問題が大きくなりあげられてその対策が急がれていますが赤い羽根共同募金運動は未だこうして政治の手が届かないで生活に困つている人達を救い、社会を明るくしようとする目的で行なわれる寄附金の募集であります。

皆様から寄せられた募金は県内又は町内の困つている人達の為に使用されると同時に町社会福祉協議会の各種の事業と通じて私達の明るい町づくりに大きな役割を果たしています。

大津町の共同募金は福祉の町にふさわしく大口、中口、一般戸別募金とこれまでに県内でもよい成績を残していますがこれは皆様方のこの運動に対する深い御理解と御協力によるものと感謝しています。

こつしも又ふしあわせな人をなくするために皆様方のあたたかい心を赤い羽根に託してこの運動に一層の御協力をお願い致します。

尚この募金に合せ社会福祉協議会の会費二〇円もお願いすることになっています。

四十四年度募金目標 四十万円 一般戸別募金80円(内20円社協会費)



猪害対策……………猪犬を導入

町では外輪山麓一帯に棲息して収穫を目前にした農作物の猪害対策として猪犬の導入を計画しておりましたが、去る九月上旬球磨郡方面より優秀なる猪犬を導入しました。導入頭数は三頭で、一牝二頭の成犬であります。この猪犬は矢護川方面高尾野方面大津方面に夫々配置され専門的に飼育技術をもつておられる狩猟家が管理されております。

更に又長期外害獣捕殺の許可についても二十数名の許可があり、今後の猪害については農家並に猪犬狩猟家等密接なる連帯のもとに、猪害撲滅をはかりたいと思っております。特に猪の出没する地域の農家では、発見次第直ちに関係の書翰捕殺許可狩猟者に連絡されるようお願いしております。

尚猪犬の管理者は左記の方々であります。

- 矢護川方面 今村一馬
- 高尾野方面 府内維義
- 大津方面 本田誠一

大津町善意銀行預託……………

八月三十一日 二五円 綴治の上子供会館地蔵おきい銭を預託
 九月十五日、四〇〇円 護川中学校卒業クラス会代表豊岡昭子殿

こまつている人達のために預託

上月恵美子殿

食欲の秋です

▽……………あなたの食生活は……………△

「天高く馬肥ゆる秋……………食欲の進むシーゾンの訪れとともに、太りすぎを気にする人が目だつてふえてくる様です。(特に若い女性の方でしようか)

しかし誰もが、やせる為に、折角の食欲を犠牲にしたら、とんでもない事になつてしまいます。自分の健康状態、栄養状態をよく知つた上で食欲の秋を楽しみたいものです。

三度の食事、まず一応の献立をたて、おけば、食べすぎる事も、少なすぎる事もないし、食事準備もそう苦にならないでしょう。私達は、毎日穀類、魚肉卵類、野菜類、油脂類を上手に組合せて食べなければなりません。余程気をつけていなければ片寄つた食事になつてしまいます。

魚肉類は主菜として案外食べられていますが、手近かにあるつもりで一番摂取しやすい筈の野菜が食べられていないのが現状です。又摂取しにくい食品の一つには油脂類も入る様です。それでは私達が健康で働く為には、一日にどれだけの食物をとればよいでしょうか?

熊本県では、県の食糧生産の問題、食習慣、嗜好等を考慮して次の案を認定しています。

(毎日これだけは食べましょう。)

穀類	四五〇g	上手な食品の組合せをして、夏ばてした体の回復を計りましょう。
芋類	四五〇g	この食欲の秋に
砂糖	四五〇g	
油脂類	四五〇g	
豆類	八三〇g	
魚肉卵類	一一〇〇g	
乳類	六〇〇g	
野菜類	三三四〇g	
海藻類		

(生活改善普及員)

健全財政を堅持する大津町

昭和三十九年度決算の概要

昭和三十九年度一般会計並に特別会計の決算は九月の定例議会に提案決算特別委員会の審査を経て議会の承認を得たのでその概要を報告致します

一般会計の性質別歳出内訳

区分	歳出決算額 千円	歳出金額に 対する比率
1 人件費	81,429	26.72%
2 物件費	36,189	11.87%
3 建設事業費	146,380	48.03%
4 積立金	6,899	2.27%
5 その他経費	33,652	11.11%
合 計	304,749	100%

- 昭和三十九年度的主要事業
- 火葬場の建設事業費 一、四七六千円
既設火葬場は附近に住宅が建設され環境衛生的に悪いので大津町大字大津二〇番地に敷地四三〇坪を購入し、土屋十八坪、納骨堂一坪を建設
 - 家畜導入利子補給 一、四三〇千円
昭和三十六年度に於て信連より特別資金の融資を受け、大巾の家畜導入をなし町はその利子補給を助成本年はその最終年次である。導入された家畜は乳牛一七頭和牛三七一頭利子補給助成額の累計一〇、六一二千円となる
 - 農道改良 二、二一七〇千円
講堂一六九坪が危険校舎であり三十八年度二三二坪を新築し三十九年度は六七七坪を新築した昭和四十年年度に於て全校舎、並に屋内体育館も全部完成の予定である。

四、林道新設工事 四、〇〇〇千円

大津町より二重峠を結ぶ林道工事で全長約六、〇〇〇米のうち本年度八二〇米完成した。この林道は三十七年度より着工し、四十年年度延長一、六〇〇米の全工事が完了する予定である。

五、造林事業 三、五五五千円

町有林新植十六ヘクタール 下刈二一〇ヘクタール 補植三〇ヘクタールその他防火線の設置等を行い町有林の育成に努力する

六、土木工事 一、六二〇千円

県道改良工事 三、四〇〇千円 町内道路拡張改良工事に八、二二〇千円をもって道路を整備し町民の福祉に努める

七、橋梁新設改良工事 一、五八二千円

新村橋外七ヶ所架替工事

八、町営住宅建設 一、二五六千円

住宅難解消の為に本年度に於て第一種三六平方米第一種三二平方米各十戸を室町に建設した。

九、大津小学校建設工事 五、七二六千円

大津小学校は校舎一、一九〇坪のうち一、〇九四坪

- 十二、給食センター建設工事一七、二六〇千円
本町には、小、中学校併せて十二校そのうち給食未実施校、小、中学校各三校あつた全校共完全給食の希望に沿つて幼稚園から中学校まで県下に例を見ない学校給食を実施することができた、町内各学校の給食給費を解消し児童生徒の体位向上を期することにした。

以上が本年度主なる事業である

各会計別の決算の状況は別表の通りであります。

一(7)一

水道特別会計

(歳入) 款	予算現額 千円	調定額 千円	収入済額 千円	(歳出) 款	予算現額 千円	支出済額 千円
1 使用料及手数料	8,236	9,748	9,483	1 水道費	5,907	5,723
2 分担金及負担金	194	193	193	2 公債費	3,708	3,707
3 財産収入	23	32	32	3 予備費	437	0
4 繰越金	1,144	1,144	1,144			
5 諸収入	456	586	558			
歳入合計	10,053	11,704	11,411	歳出合計	10,053	9,431

歳入出差引残高 1,980千円

国保特別会計(事業勘定)

(歳入) 款	予算現額 千円	調定額 千円	収入済額 千円	(歳出) 款	予算現額 千円	支出済額 千円
1 国民健康保険税	18,400	22,408	18,621	1 総務費	3,785	3,451
2 一部負担金	2	0	0	2 保険給付費	43,790	42,963
3 分担金及負担金	2	0	0	3 保健施設費	1,335	1,269
4 使用料及手数料	62	43	43	4 基金積立金	401	401
5 国庫支出金	29,195	27,107	27,107	5 公債費	2	0
6 県支出金	15	14	14	6 諸支出金	335	253
7 繰入金	501	500	500	7 予備費	678	0
8 繰越金	2,023	2,023	2,023			
9 諸収入	128	191	191			
歳入合計	50,328	52,289	48,501	歳出合計	50,328	48,338

歳入歳出差引残高 163千円

一般会計

(歳入) 款	予算現額 千円	調定額 千円	収入済額 千円	(歳出) 款	予算現額 千円	支出済額 千円
1 町税	62,135	71,678	65,950	1 議会費	6,644	6,490
2 地方交付税	78,515	79,266	79,266	2 総務費	52,428	50,791
3 分担金及負担金	1,645	1,398	1,368	3 民生費	25,929	25,313
4 使用料及手数料	8,370	8,683	8,263	4 衛生費	9,914	9,477
5 国庫支出金	33,413	33,288	33,288	5 労働費	229	179
6 県支出金	28,997	31,383	31,383	6 農林水産業費	31,308	29,972
7 財産収入	15,154	15,324	15,324	7 商工費	2,841	2,803
8 寄附金	1,683	1,337	1,337	8 土木費	34,477	33,201
9 繰入金	35	35	35	9 消防費	3,873	3,745
10 繰越金	18,157	18,156	18,156	10 教育費	122,471	121,495
11 諸収入	5,736	7,976	7,976	11 災害復旧費	9,636	8,939
12 町債	63,000	62,500	62,500	12 公債費	10,660	10,369
				13 諸支出金	2,000	2,000
				14 予備費	4,465	0
歳入合計	316,840	331,029	324,881	歳出合計	316,840	304,748

歳入歳出差引残高 20,133千円

ブルトーザ特別会計

(歳入) 款	予算現額 千円	調定額 千円	収入済額 千円	(歳出) 款	予算現額 千円	支出済額 千円
1 使用料及手数料	2,099	1,664	1,547	1 ブルトーザ一費	2,165	1,711
2 繰越金	120	140	140	2 予備費	110	0
3 諸収入	56	59	59			
歳入合計	2,275	1,864	1,748	歳出合計	2,275	1,711

歳入歳出差引残高 36千円

国保特別会計(直診勘定)

(歳入) 款				(歳出) 款			
	予算	現額	調定	収入	済額	予算	支出
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
1 診療収入	2,557		3,220	3,045		1 総務費	3,214
2 使用料及手数料	5		2	2		2 医療費	999
3 国庫支出金	2		0	0		3 施設整備費	29
4 県支出金	1		0	0		4 公債費	110
5 財産収入	31		60	60		5 予備費	0
6 繰入金	1,203	1,153		1,153			
7 繰越金	540	540		540			
8 諸収入	14		81	81			
歳入合計	4,353	5,058		4,883		歳出合計	4,353
							4,249

歳入歳出差引残高 633千円

農繁期 家の護りは引うけた

消火器の訓練うける

老人クラブ

引水老人クラブ(みどり会)はその名の通り会員一同まだまだ意気けんこう、引水部落を元化する為に上井手ベリにつづいて園を造成していることは存じでしょう。今年には会員の間で農繁期の家庭は私達老人の手でと思いついたのが火災予防だ。プロパンガスや石油を使用するようになった今日、吾々老人も科学的な防火知識が必要になつてきた。早速民生委員や消防団と話し合い各家庭に備えつけた消火器操作の講習会を開くことになった。

燃えているカッリンに近づくことは仲々お年寄りには勇気がいる。それでも消防団員の指導によつて二回三回と練習するうち七十のおちいさん、おばあさんにも自信が出来る。

訓練が終わった会員達は「も大丈夫、笑顔でみんな楽しもうにお茶を呑みながら話していた。」



▼▼護川中学校水泳プール▲▲

近く着工の運び

大津小学校屋内体育館とともに、最後まで国庫補助が難航した護川中学校水泳プールは、町長、議長をはじめ関係者の非常な努力と、関係方面の直接、間接の御協力により、漸く国庫補助決定の通知をうけ近く着工の運びとなりました。

場所は西校舎に続いた校落ちの畑一反歩に建設されます。同地方は水道事情に多少懸念する点がありますが、町としての、衛生的な見地、及び水道料等の維持費の点などから、当初としては、はじめての浄化装置付の学校プールが建設される予定です。当地方は畑地帯で流水がなく、児童生徒の水に親しむ機会がなかつたのでこの度のプール建設より、護川中はもとより、護川小、平川小、矢菱川小も共にこれを活用し、九〇名近い児童生徒の体位向上に資することが出来ます。私達はこのような近代のプールの建設していただいた町当局、議会、そして町民の皆さんからお礼を申し上げます。

用件は先づ受付え

「町民相談室」へ御案内します

町民のサービス機関としての役場をモットーに三十七年十月から事務改善を行い、「町民相談室」を設け町民の皆様への苦情、相談、陳情、その他いろいろの相談に際すること致し居りますが、近時来庁される町民の方で用件のある係の事務室内に直接行かれて相談されることが多い様に見受けられます。

これでは周囲の人に気がねしたり充分意見が述べられなかつたり安心して相談が出来ないばかりでなく職員も応待に誠意が欠けることがないとも限りません。又事務能率に關係するやも懸念されますので折角町民相談室を設けて住民に対する「サービス」の向上に努め、よりよい町政が行われるよう努力していただきますので役場の用務で来庁される方は本館の受付に相談の件名を話して頂けば受付から直に關係のある職員に連絡して係が相談室に来ていろいろと相談に応じますので、皆様の相談室としてどんなことでも気軽にどしどし利用される様をお願いします。

金婚夫婦表彰

皇太子の御成婚を期に発足した、熊日新聞社主催の金婚夫婦の表彰も、本年度第七回を迎えますが、本町でも六組の御夫婦の方々に對し、九月十五日の老人の日を前に、去る本日表彰状及び記念品の伝達がありました。

夫婦氏名	年令	職業	住所
芹川茂吉	七五	農業	矢護川
タキフ	七一		
田村善一	八二		室
タヌエ	七三		
大塚三三	七五		
タカエ	七四		
大田黒木彦	七四		吹田
タジツ	六九		
藤本伊八	七七		岩坂
タマスエ	七七		

渡辺藤八 七二
 クトム 七十
 松古閑

農地被買収者給付金の

請求受付中です

弘報八月号で概要をお知らせいたしました通り被買収者給付金の請求申請受付をいたしまし居ります。但し、事務整理の都合上次のとおり地域毎に受付事務を計画いたしまして、最繁期を控へ夫々御都合もあると思ひますが御協力方お願い致します。この申請は昭和四十年三月三十一日までとなつて居りますが出来るだけ定まつた期限内に請求申請されるようお願い致します。なお買収令書所持されていない方は登記簿抄本を必要と致します。この抄本の発行については登記所において準備してありますので申添えます。

- 一、十月十五日～十月二十日 旧錦野村の区域
 - 一、十月二十一日～十月二十六日 旧瀬田村の区域
 - 一、十月二十七日～十月四日 旧澤内村の区域
 - 一、十一月五日～十一月十日 旧大津町の区域
 - 一、十一月十三日～十一月十八日 旧平真城村の区域
 - 一、十一月二十四日～十一月二十九日 旧藤川村の区域
- 右日程のうち休日は除きます

戦没者叙勲伝達

第十三回及び第十四回叙勲命令の、遺族十一名に対する勲章並びに勲記の伝達並びに十七日に役所に於いて、挙行されました。授けられた遺族は左記の通りです。

勲等別	身分	戦没者氏名	部落	統制	遺族氏名
旭七	軍曹	久保田康雄	室	統制	遺族氏名
旭八	伍長	佐藤良義	上町	兄	久保田速雄
〃	兵長	荒木藤人	矢護川	父	佐藤春美
〃	〃	藤本義明	上天津	妹	藤本ヨシ子
旭七	二等兵曹	古正光	平川	兄	古正繁治
〃	伍長	藤原昌巳	藤原中	母	藤原中
旭八	一等兵	井上勝人	室	弟	井上アキエ
旭七	上等飛行兵曹	月尾清一	引水	父	月尾義身
旭八	二等整備兵曹	西本堅新	母	西本ツグ	
〃	〃	山中章	上陣内	父	山中ツナ
〃	水兵長	古沢誠一	上大津	父	古沢利藏

私には農村に生きたい

活発な討議 青年団宿泊研修会

農村後継者として希望をもって農村に生きるためには若い青年の手で開拓しなければならぬ問題が山積している。

営農、家庭生活、社会生活について青年で解決できる問題、努力しなければならない問題を実体的に出しあつての研修会が九月二、三日中央公民館で行はれた。

「時代に即応する農村生活をテーマに三分科会に分れて討議を行ったが、坂本町長も分科会で意見を聴かれるなど、盛上りをみせ多くの成果を取ることが出来た家庭生活の面では、親子特に父親との意志の交流(話し合)がなされていない家庭が多く、そのために色々な問題が持

上つているケースが多かつた、営農の面では非常に積極的な意欲がられ、後継者として真剣にこのことと取組む意欲がみられた、後継者育成資金を利用して養豚事業をはじめた青年の事例などについての意見の交換や父子協定農業や、耕地拡大などのことについての意見交換が多かつた。その他休日、嫁不足、協同意識高揚など今後青年だけの問題としてでなく親子を交しえた研修会をもつ必要が痛感された。

具体的なことについては毎週の青年学級の学習の中で研究していくことを申し合せた。

高値をよんだ子牛馬せり市

生後八ヶ月前後が有利

先般大津畜市場における子牛馬のせり市は近年にない高値とあつて観衆の注目をよびました。

九月十一日 子牛 一〇四頭 平均七七、九八三元
十七日 子馬 一〇四頭 平均六八、六七三元
十八日 〃 一二四頭 平均六八、六二九円

と云う好成绩でありこれも生産の減少と食生活の改善に伴う食肉の需要が増えられたもので、今後、肉生産、即ち肥育に主力をおいて子牛馬の生産に大いに努めたいものです。特に褐毛和牛の子畜は体質充分で、尚且つ深巾あるもので、生後八ヶ月前後位のが最も望ましい時期であると思ひます。

これは購買後肥育に最も適し、食肉としての需要面に即応するためであります。従来当地方は繁殖を目的とした産地化が形成されておりましたが、現在の状況は子畜即食肉としての需要が要求されており、大型肥大子畜が市場において有利でありますので、従来三〜四ヶ月の短期市場売買を取止め、将来は生後少くとも七ヶ月から八ヶ月以上を経て肥大、大型のものを市場へ出せるようおす

ゝめするわけであり、尚需要の増大に伴い基礎家畜の不足は今後当分続くものと予想されます。当町産業の成長部門として一番期待しております畜産の中で和牛の生産は特に力を入れたいものです。優秀基礎家畜の保留、育成と優秀種牡牛の交配による生産に大いに努力されるよう切望いたします。

老人ホームを

慰問された方々

- 九月一日 陣内婦人会幹部代表江藤絹子慰問タオル
 - 四日 熊本市高浜二一紙芝居
 - 五日 平川坂本ノリ子舞踊
 - 一五日 室横田博清酒一升
 - 〃 陣内婦人会
 - 〃 大塚猛コイを寄贈
 - 一八日 室玉園亭金一封
 - 二五日 陣内小学校友愛部一四名歌紙芝居
- 八月 室緒方針助西瓜

準急第一ひまわりが停車します

通 勤 列 車 も 一 本 増 発

十月一日の国鉄ダイヤ改正で準急第一ひまわりが大津駅に停車することになりました。この列車は熊本駅で準急くまに連結長崎まで直行することができます。また朝の通勤列車が大津始発で大変便利になりましたので御利用下さい。

尚準急停車を祝い、町では十月一日大津小学校鼓笛隊で列車を迎え、運転士につまじの鉢を贈ることになつていきます。

上り	六、〇八	下り	六、二八	大分
	七、〇五		八、一八	宮地
	七、一八		八、五六	

上り	八、五三	準急	九、三七	別府
	一〇、五五		一〇、五六	大分
	一一、二五		一一、〇一	宮地
準急	一四、〇五		一三、五一	◇
	一五、〇五		一六、四一	◇
	一六、〇五	準急	一七、〇二	別府
準急	一六、五八		一七、二〇	宮地
	一七、一八		一八、一四	◇
	一八、三〇		二〇、〇九	◇
	二〇、三三		二二、〇〇	◇
	二二、〇〇			

▼第一回県肉畜共進会▲

十月十六日より三日間

昨年までは県畜産共進会が開催されてきましたが、本年度は特に「肉生産即ち肥育に主力をおいて」「肉畜共進会云わば肉畜の祭典として開催されることになりました。これは食生活の改善に伴ない、食肉の需要の増大と貿易の自由化に伴ない、外国からの市場攻勢に対応するため畜産農家の所得の増大を図り経営の安定向上に資するため開催されるものです。

多数參觀され畜産農家の発展の一助として下さい。

期 間 自十月十六日(三日間)
場 所 熊本市白川公園
出陳家畜 イ肉午五二点 口肉豚三点
肥育技術実物展示、食肉料理実演

自 衛 官 募 集

募集期間 四十年九月一日より十一月三十日まで

受験資格 満十八才以上二十五才未満の日本国籍の男子
志願の手続 志願票は役場町民課窓口に備付てありますので請求して下さい。

試験 試験科目は学科試験(國語、数学、社会、理科)

口述試験、身体検査で一日で終了です。

給与 初年度の俸給は二二、八〇〇円で賞与年三回支給されます。

その外自衛隊では上級学校への進学を奨励しており大学の夜間部への進学も出来ます
(詳細については役場総務課)

社会福祉協議会へ寄附金

九月十四日産業開発青年隊員一同より社協へ五〇〇円の寄附金が贈られた。

これは交通事故救済出動の折謝礼金として贈られたものに隊員拠金を加えたもので社協で隊員の善意に深く感謝している。

目標量の94.9%

四十年産米事前売渡の申込

次表の通り予約の目標数量に対し94.9%の予約実績となつています、台風15号により水陸稲共に多少の被害を蒙りましたが、其の後適切な降水と病害虫防除の徹底等により成育も順次回復し気温の低下による出穂の不揃など多少心配の点もありますが平年作の収穫が予想されますので、事前売渡申込数量(予約数量)にかかわらず適正なる保有米確保の残量は出荷されます様御願ひ致します

集荷者名	39年産米の 集荷実績	40年産米の 予約実績	40年産米の 予約の目標
大津町農協	46.337	49.024	51.900
瀬田農協	3.056	3.332	3.300
園田業者	1.583	1.731	1.879
武藤業者	2.126	2.503	2.525
計	53.103	56.590	59.604



固定資産税 保険税

第三期分
集合徴収日程

集合徴収日程表

10月28日	午前 午後	牧野川 内外 錦鳥
10月25日	午前	坂田 岩瀬
10月28日	午前 午後 午前	林田 吹森
10月29日	午後 午前 午後	内島 陣中 上下
10月27日	午後 午前	野川 高平 真杉
10月26日	午後 午前	木水 小上 御願所
10月27日	午後 午前	林中 又中 片下 久保 中尾

お知らせ

肢体不自由児の巡回診療相談

菊池保健所より左記の通り肢体不自由の児童に対し診療並びに相談が実施されます。肢体不自由児の方は全員受診される様願ひます。

期日 十月二十日 十時
場所 保健所大津支所(大津駅通り)
対象 乳幼児及び十八才未満の児童

三才児の健康診断

三十六年十一月二日から三十七年十月三十一日迄に出
生した三才児の健康診断

十月十二日 一時～三時 錦野小学校 平川小学校
十三日 矢護川 護川

百日咳及びジフテリアの予防注射

該当児は生後三ヶ月～一年未満及び注射もれの方は初回免疫として三回実施のこと
追加免疫として一才～二才は一回実施

場所 一回 二回 三回
場 所 一回 二回 三回
錦野小学校 十月二十六日 十一月三日 十二月十四日
平川 〃 〃 〃
瀬田 〃 〃 〃
診療所 〃 〃 〃
護川公民館 〃 〃 〃
陣内農協 〃 〃 〃
大津公民館 〃 〃 〃
時間 二九日 二六日 十七日
時間は二時～三時



話の 広場

十月二日
スポーツの日に
ちなみ話題二つ

囲碁オリンピック

オリンピックを記念しての催し

大津町には東京オリンピックを記念して、囲碁オリンピックを催す同好会がある。

今年は第二回目、十月三日にテニ大会が催される。職業年令その他まちまちで、同好会四十名、日頃暇場で町内で雑えた腕を競い合う、スポーツならぬ囲碁オリンピック、ちなみこの同好会は毎月第一日曜日に例会を開いてなかなかの盛会である。

ソフトボールに

親しむ主婦

スポーツ教室指定

の 錦野婦人会

錦野婦人会では奥羽社会体育指導員にソフトボールの手ほどきをうけてこのところソフト熱が高まった。

これはスポーツ教室の一環としてはじめてもので暇をみつけては日常練習にはげんでいる。

九月十八日は四支部対抗大会にまでこぎつけた。

盛んな声援をあびて熱戦の結果錦野Aチームに初のかいか、敵をバットに

握りかえての奮戦は婦人会員の親睦にも大いに役立ち好評。尚その日は菊阿中学校区対抗ソフト大会も行なはれ大株本分チームが二年連続優勝した。



保存したい杉並木

補植申込みの篤志家もある

最近テレビ、新聞で大きく取上げられて全県的な話題になつているものに大津街道の杉並木の問題がある。

色々な事情があるにしても何としかして保存したいのが地元民の願いである、このとき町長室に「杉並木の補植施肥を自費で奉仕してもよい」と高森町在任の一篤志家よりの申出があつた。

老杉道を挽んで、他樹なし

欠くる処、時々阿蘇を見る

の風情は是非後世に継ぎたいものである。

老人ホーム日記

「としよりの日」によせて

九月十五日 菊福社事務所長、山下課長米國、県知事および郡社協会長よりの見舞金伝達、坂本町長も同席、老人と中食を共にし喜びを分かちました。午後は若草園職員園児の劇や歌でとしよりの日を祝ふしにぎやかな一日をすごしました。

九月十八日 大中ブラスバンド三十名来園、炎天下のような汗を流しながらの演奏に老人一同感激、終つて一人一人に慰問袋が渡され玉手箱を開けるような思いで贈物に感立しました。

九月二十一日 大洋漁業ブラスバンド演奏会に浜食料品店より招待をける、中食として折詰、果物籠を各六十二個をいただき大変なでなしをうけ、半日を中央公民館で楽しくすごしました。

九月二十七日 大津地区婦人会より敬老会に招待をうけ四二名の老人たちと同席懐かしい昔話に花をさかせながら、浄留瑪芝居を楽しみました。



大津弘報

昭和四十年十月発行
毎月一回発行通巻一七五号

発行所 大津町中央公民館
印刷所 大津町坂本印刷所